

(令和6年6月21日発表)

「令和6年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務(環境省)」採択
友好都市フエ市と「脱炭素」に係る連携開始

◆アピールポイント	● 脱炭素分野に高い関心をもつ友好都市フエ市の脱炭素化について、国制度（補助金等）を活用しつつ、両市が協働します。 ● 行政間では脱炭素に係る課題やノウハウの共有を、企業等はJCM※を活用した現地での脱炭素な技術や設備の導入・事業化に向けて可能性調査を行います。 ● 市内企業等の海外進出や友好都市との関係強化により、経済・社会・環境の三側面の好循環を目指します。
◆内容など	【事業名】 ベトナム・フエ市における脱炭素社会の実現を目指した都市間連携事業 【調査期間】 2024年度～2026年度（3か年） 【代表事業者】 日本工営株式会社 【参画企業等】 静岡市、静岡ガス株式会社、静岡商工会議所、 MIURA SINGAPORE CO Pte Ltd.、ニイヌマ株式会社、 タケ・サイト株式会社、ユアサ商事株式会社 ○ 本事業を通して、JCM※の活用により、現地及び日本の温室効果ガス（GHG）排出量の削減を目指します。 ※ Joint Crediting Mechanism（通称「JCM」）を指す。 パートナー国の GHG 排出削減・吸収に係る我が国の貢献分を定量的に評価・把握し、日本の GHG 排出削減に活用する制度。
◆備考	(1)採択結果は、6月7日（金）に環境省が公表しました。 環境省 HP:https://www.env.go.jp/press/press_03277.html (2)脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務の概要 環境省 HP:https://www.env.go.jp/earth/coop/lowcarbon-asia/project/

別紙資料 有（環境省報道発表資料）
（事業概要）

【問合せ】 G X 推進課 （静岡庁舎 13 階）
担当 廣田、河本
電話 054-221-1611

番号	事業者	国内都市	対象都市・地域	対象国	事業名	対象分野	事業概要
1	日本工営(株)	横浜市	マカッサル市	インドネシア	横浜市・マカッサル市の都市間連携による交通・エネルギー分野を軸とした脱炭素都市形成支援事業	・省エネルギー ・再生可能エネルギー ・廃棄物処理 ・交通インフラ ・制度構築支援 ・デジタル技術	本事業では、交通分野での脱炭素化および再エネ/省エネ導入促進に向けた都市間協力を実施することによって、マカッサル市の脱炭素都市の形成を推進する。 都市間連携活動としては、WS等を通じた横浜市の交通分野での脱炭素化に係る行政施策についての知見・経験の共有を実施する。 また、JCM案件・発掘形成調査としては、「市内交差点における自律分散型信号制御の導入」に向けた基礎調査、「電動バイク用バッテリー交換ステーションへの太陽光発電設備の導入」のためのF/S、「セメント工場における廃熱回収発電設備の導入」に向けた基礎調査、「市内での再エネ利用設備および建物省エネ関連技術の導入」に向けた基礎調査、を実施する。
2	日本工営(株)	静岡市	フエ市	ベトナム	ベトナム・フエ市における脱炭素社会の実現を目指した都市間連携事業	・省エネルギー ・再生可能エネルギー ・制度構築支援 ・デジタル技術 ・スマートシティ開発 ・その他(CCU)	静岡市とフエ市による本都市間連携事業は、静岡市よりフエ市へ脱炭素先行地域のノウハウおよび地球温暖化対策計画策定経験等のノウハウを共有すると共に、両都市で活躍する民間企業の交流や企業プラットフォームの構築を目指す。上記を通じてJCM設備補助事業の案件発掘・形成支援することで、フエ市における脱炭素社会の実現に貢献する。具体的には、フエ市の公共及び産業部門での脱炭素化を目指し、フエ市公共施設、工場、市内観光設備等における再エネ・省エネ事業、生コンクリートスラッジによるCO2回収・利用事業等を検討し、JCM案件形成及びカーボנקレジット創出支援を行う。
3	八千代エンジニアリング(株)	真庭市	マカッサル市	インドネシア	真庭モデルによる脱炭素社会形成推進事業	・再生可能エネルギー ・廃棄物処理 ・制度構築支援 ・デジタル技術	岡山県真庭市は、2000年代前半より「バイオマスタウン真庭構想」を策定するなどいち早く、バイオマス資源の活用に取り組んできた。近年では「ゼロカーボンシティまにわ宣言」の実現に向けて、木質バイオマスを活用した発電事業や有機廃棄物の資源化事業に取り組んでいる。本事業では、そのような「真庭モデル」をマカッサル市へ適用し、マカッサル市でのLow Carbonの達成を目指す。 具体的な活動は以下のとおり 1. 有機系廃棄物及びし尿汚泥等の利用可能性調査 2. 「バイオマス循環計画」の策定支援 3. 有機系廃棄物を活用した資源循環事業の実現可能性調査
4	(株)オリエンタルコンサルタンツ	札幌市	ウランバートル市	モンゴル	札幌市・ウランバートル市の寒冷地における環境インフラ導入促進事業	・省エネルギー ・再生可能エネルギー ・制度構築支援	札幌市とウランバートル(UB)市は「世界冬の都市市長会」にて、共に寒冷地特有の課題に取り組んでいる。本年度は、札幌市にて市長級トップ対話と環境インフラ視察を行う。また、寒冷地に適する脱炭素設備を有する道内民間企業のUB市訪問と現地民間企業の交流を行い、本邦脱炭素設備の導入促進を目指す。 本事業では、石炭に依存するUBの①脱炭素を見据えたエナジートランジションを目指した熱供給システムのエネルギー転換、②屋根付太陽光発電と断熱性向上を取り入れた低炭素型住宅・施設への転換、③寒冷地に適したアイスシェルダー、バイオガス等の地産地消自然エネルギーの最大活用に係る環境インフラ導入のJCM事業化を目指す。

本事業では、脱炭素社会への移行に高い関心を持ち、気候変動への脆弱性の改善を願うフエ市に対して、静岡市より行政レベルの知見やノウハウを教示するだけでなく、静岡市関係企業を巻き込んだ脱炭素社会への移行プラットフォームの構築を目指す。とりわけ、十分なポテンシャルがあるも具体的な再エネ・省エネ対応がなされていないフエ市およびその周辺地域に対して、本邦企業による脱炭素技術・製品の普及展開を図る。

今年度の実施内容

① 温暖化対策に資するノウハウの継承

静岡市が有する脱炭素先行地域のノウハウおよび地球温暖化対策計画策定経験等のノウハウをフエ市へ共有する。そして、フエ市の脱炭素化に向けた各種サポートを実施する。

② 観光都市に資する環境配慮活動の実装検討

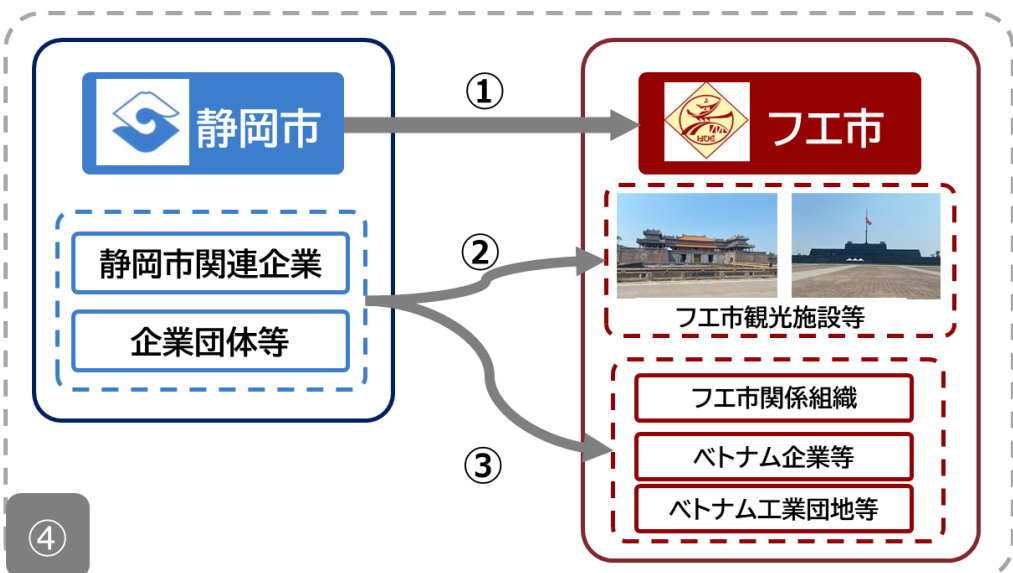
観光都市であるフエは、環境配慮設備が既に設置されるも、その量は十分ではない。今後、都市部の拡張が予定される同市に対し、本邦企業の製品・技術を紹介、実装することを目指す。

③ フエ市および近郊での産業セクターに対する脱炭素技術の普及展開

フエ市は、2025年までに「トゥアティエン・フエ市」として中央直轄都市へ格上げされる。そのため、今後大規模な工業団地や都市開発等に絡めて脱炭素技術の普及展開を目指す。

④ 静岡・フエにおける官民ネットワークの構築

静岡市内企業および関連組織を中心として、ベトナム企業等との官民ネットワークを構築することで、両都市関係者への更なる事業機会の創出や脱炭素社会への展開を進めてゆく。



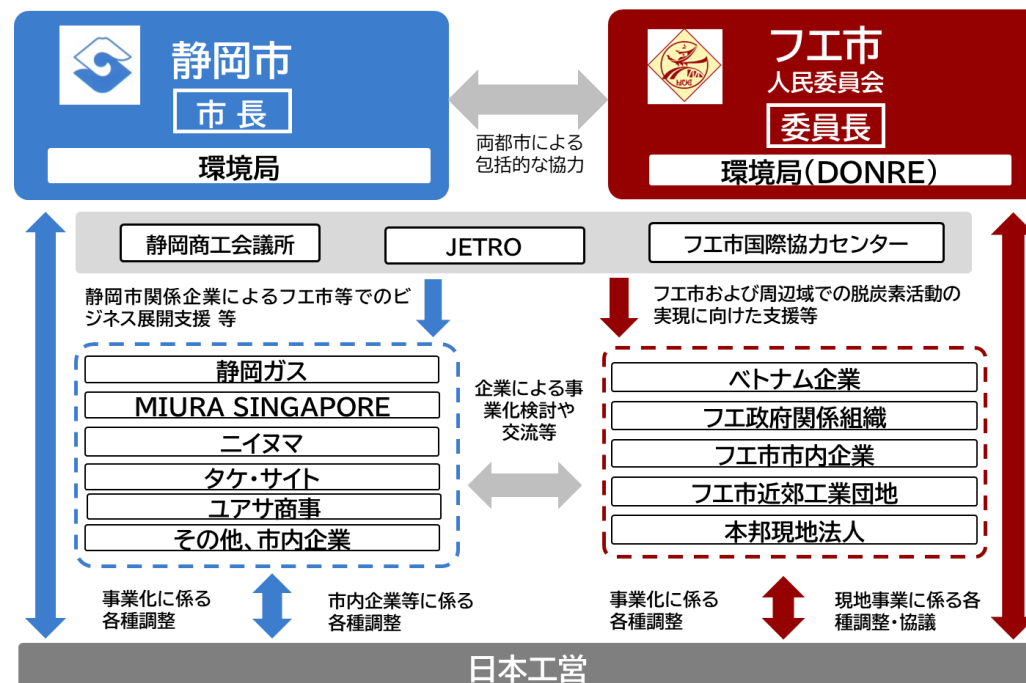
図：本事業における都市レベルでの主な活動メニュー

調査実施予定のJCM候補案件

#	候補案件
1	フエ市関連施設における再エネ・省エネ事業
2	工業団地、個別工場における熱供給設備の効率改善事業
3	市内観光設備等における高効率照明設備導入事業
4	生コンクリートスラッジ等による大気中のCO2固定化事業
5	その他、脱炭素技術・製品の導入支援事業

注：本都市間連携事業において、本邦企業の技術・製品・ノウハウ、および現地ニーズを踏まえ上記候補案件の調査など実施する予定。

実施体制



注：本都市間連携事業の実施を契機として、静岡商工会議所やフエ市国際協力センター等を巻き込み、面的な脱炭素社会形成に向けた交流を実施する。